

バーコードリーダー

# Cylock Libre

ご使用前に、本ユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

## 記載内容に関するご注意

- 本機をご使用になる上での基本的な取扱方法について説明しております。
- 本書は誤記の無いように注意して編集しておりますが、誤記や記載漏れがあった場合でもそれに起因するお客様の直接の損害、不利益につきまして当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更することがあります。

## 安全上のご注意（必ずお読みください）

本機は安全を十分に考慮して設計されています。  
しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり、大変危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### ⚠危険

- ・火中投下、過熱、高温の場所での充電、使用、保管、放置をしないでください。  
内蔵の充電式電池が発熱、発火、破裂する原因になります。
- ・防爆エリア（引火性の物質がある場所など）では使用しないでください。

### ⚠警告

- ・製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- ・使用中または充電中に異臭、発熱に気が付いたら、直ちに使用を中止してください。
- ・所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
- ・ACアダプターを屋外で使用しないでください。また、布などでくるましないでください。  
感電、火災の原因となります
- ・ACアダプターのプラグについたほこりは乾いた布で拭き取ってください。  
火災の原因になります。（トラッキング現象）
- ・濡れた手でACアダプターをコンセントから抜き差ししないでください。  
感電の原因になります。
- ・ケーブルのつけ根部分を無理に曲げないでください。また、折れ曲がった状態で使用しないでください。故障、火災の原因となります。
- ・破損したケーブルおよびACアダプターは使用しないでください。火災の原因となります。
- ・ACアダプターを他の製品に使用しないでください。

### ⚠注意

- ・火のそば、炎天下の車内、直射日光の当たる場所などで放置をしないでください。  
変形や故障の原因となります。
- ・本機を落としたり、強い衝撃を与えたり、ぶつかけたりしないでください。
- ・結露した状態で使用しないでください。
- ・プラグをコンセントに確実に差し込んでください。感電、ショート、火災の原因になります。
- ・ケーブルを引っ張って抜かないでください。必ずコネクタ部を持って取り外してください。
- ・充電時以外はACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- ・本機の上に重いものを置かないでください。割れてけがの原因になります。

## 運用に関するご注意

- 本機は海外ではご使用になれません。（日本専用モデル）  
日本国内仕様となっており、海外の規格には準拠していません。  
海外で使用され発生した不具合について、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の故障や修理・その他取扱いやバッテリーパックの寿命によって、万が一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に関わらず、当社は責任を負いかねます。
- 無線通信機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、当社は責任を負いかねます。
- お手入れにアルコールやシンナーあるいはベンジンなどの有機溶剤、または、研磨剤を含む洗剤を使用しないでください。
- スキャナ窓に傷をつけないでください。バーコードが読取れなくなります。

## Bluetooth について

- 本機は、Bluetooth の規格に準拠していますが、接続機器によっては接続できない場合があります。
- 本機が使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか又は電波の発射を停止してください。

## 電波障害自主規制について

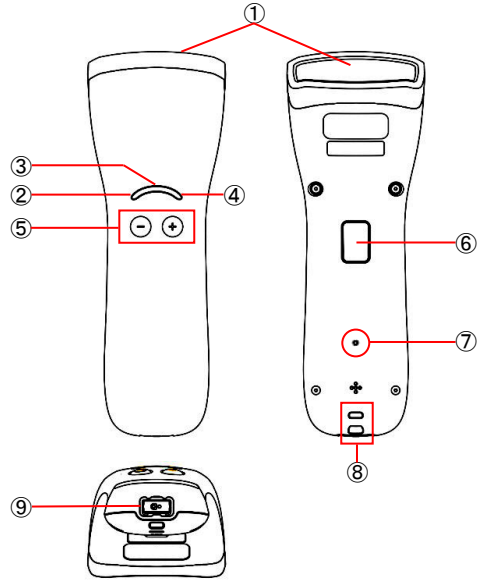
本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

## 同梱品の確認

ご確認の上、万が一、欠品、破損品がございましたら、お手数ですがお買い上げになった販売店までご連絡ください。

- バーコードリーダー本体
- ACアダプター
- 充電スタンド
- ユーザーズガイド（本書）

## 各部の名称と機能



①スキャナ	赤色 LED 光を照射しバーコードを読み取ります。
②バッテリー LED	バッテリーの状態を表示します。 赤点灯: 充電中                      早い赤点滅: 充電異常 緑点灯: 充電完了                      遅い赤点滅: バッテリ低電圧
③スキャン LED	バーコードを読み取った時の結果を表示します。 緑点灯: 読取成功 赤点灯: 読取失敗
④通信 LED	Bluetooth の接続の状態を表示します。 早い青点滅: 未接続状態（ペアリング待ち状態） 遅い青点滅: 接続状態
⑤+/-キー	動作モードにより、様々な機能を実行します。 初期状態では Bluetooth 切断時に再接続を行います。 また、iPhone、iPad に接続して使用する場合、+キーにより、ソフトウェアキーボードの表示・非表示を切り替えることが可能です。詳細については設定ガイドをご覧ください。
⑥スキャンキー	長押しで電源が入ります。 バーコードの読取を行います。
⑦リセットボタン	本機をリセットします。
⑧ストラップホール	必要に応じてストラップを取り付けてご使用ください。
⑨充電端子	充電スタンドに装着し充電を行います。

## 本体の充電

- 本機はリチウムイオン充電電池を内蔵しております。  
出荷時は充電されていません。充電を行ってからお使いください。
- バッテリー低電圧を示す LED 表示が出た場合、すぐに充電を行ってください。  
充電を行う場合は、必ず 5°C~35°C の環境下で充電してください。

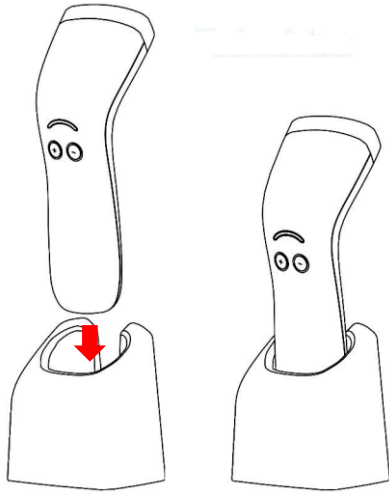
- 充電方法
  - 1) ACアダプターの USB 端子に付属の充電スタンドのケーブルコネクタを接続します。  
コネクタの向きにご注意ください。間違えた場合、破損や火災の原因となります。
  - 2) バーコードリーダー本体を充電スタンドに差し込みます。  
**充電スタンドについては、後述の「充電スタンド」をお読みください。**
- 充電時間  
およそ2.5時間です。  
ただし、充電時間は使用環境やリチウムイオン充電電池の劣化状態などにより変動します。
- 充放電回数  
リチウムイオン充電電池の充放電回数は 300 回を目安にしてください。  
使用状況により寿命期間は変動します。

下記のような症状に気が付いた場合はすぐに使用を中止してください。  
機器の故障や思わぬ事故につながります。

- ・充電中、本体の発熱が高くなったとき
- ・本体が変形して膨らんだとき
- ・満充電をしても使用時間が短くなったとき

## 充電スタンド

本機は充電スタンドを付属しております。  
バーコードリーダー本体と充電スタンドの向きに注意し、図のようにバーコードリーダー本体を充電スタンドに差し込んでください。



## 使用方法

- 電源 ON  
スキャンキーを長押しすると、スキャン LED が点灯し起動します。  
起動後、スキャン LED は消灯します。
- Bluetooth 接続  
任意のホストデバイスとペアリングを行ってください。  
ペアリング後、本機を起動した際、Bluetooth 接続ができなかった場合、または、何らかの理由で Bluetooth 接続が切断した場合、+/-キー押下で再接続します。
- バーコードの読取り  
スキャンキーを押して、赤色 LED 光をバーコードに当てます。  
バーコードの読取りは、スキャン LED、ブザー音およびバイブレーションで確認できます。
- リセット方法  
電源 ON の状態でリセットボタンを押してください。(電源 OFF 状態になります)  
リセットボタンの穴には針金のような細い棒状のものを差し込んで押してください。  
リセットは、異常な動作をした場合のみ行ってください。  
※リセットを行っても各設定情報は保持されます。
- 電源 OFF  
使用しない状態が継続した場合、自動的に電源 OFF します。(初期値: 10 分)  
※スキャンキーを長押ししても電源 OFF しません。

## iPhone・iPad に接続して使用する場合

ペアリングを行うことですぐにご使用になれます。  
本機は+キーにより、ソフトウェアキーボードの表示・非表示を切り替えることが可能です。

## 詳しい設定方法

弊社ホームページに詳しい設定方法を記載した「設定ガイド」を掲載しております。  
設定ガイドをダウンロードしていただき、よくお読みになってから設定を行ってください。

<http://www.alf-net.co.jp/products/barcode-reader/cylock-libre-ax-2100/>

本機は PC などの液晶画面に表示したバーコードを読取ることができますので、設定ガイドを印刷せずに設定を行うことができます。  
※液晶画面の光の反射やバーコードの大きさによっては読取れない場合があります。

## 出荷状態初期値

プロファイル: HID モード                      デバイス名    : Libre+Bluetooth アドレス下 4 桁※  
認証    : 無し            PIN コード    : 0000  
暗号化     : 有り            電源 OFF 時間: 10 分

※デバイス名はスキャナ部裏側に記載しています。

## 設定の初期化(出荷状態に戻す)

以下のバーコードを読取ることで出荷状態に戻ります。



または



## 本機の長期保管について

温度と湿度をお守りいただき、結露のないところで本機を保管してください。  
本機を長期保管される際は、1 時間～1 時間半程度の充電を定期的に行ってください。  
充電をせずに放置した場合、バッテリーが過放電状態となり劣化します。

## 本機の廃棄時の取り扱いについて

本機はリチウムイオン充電電池を使用しています。  
リチウムイオン充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。  
弊社にお送りいただければ弊社にて分解リサイクル処理をいたします。  
本機をご自分で廃棄する場合は、分解してリチウムイオン充電電池を取り外し、販売店または充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。  
リサイクルにご協力をお願いいたします。

### リサイクル時の注意

バッテリーパックの金属部にテープ等を貼って絶縁してください。

## 主な仕様

型番	ALX-2100X
CPU	32bit CPU
LED	スキャン LED (緑/赤) バッテリー LED (緑/赤) 通信 LED (青)
キーボード	スキャンキー +/-キー
スキャナ	CCDイメージセンサー(1次元) 分解能 5mil(Code39) UPC-A、UPC-A Add-on、 UPC-E、UPC-E Add-on、 JAN/EAN-13、JAN/EAN-13 Add-on、 JAN/EAN-8、JAN/EAN-8 Add-on、 Code128、GS1-128(EAN-128)、Code39、 NW-7(CodaBar)、ITF(Interleaved 2 of 5)、 GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、 GS1 DataBar Expanded
Bluetooth	Ver.2.1+EDR Class1(50m <sup>*1</sup> ) SPP/HID
ブザー	音量 4 段階(OFF 含)
バイブレーション	有
電源	リチウムイオン充電電池(交換不可) 充電時間 約 2.5 時間
動作環境	温度 -10~50℃ (但し充電時は 5~35℃) 湿度 10~90% (結露がなきこと)
保存環境	温度 -25~60℃ 湿度 5~95% (結露がなきこと)
保護等級	IP42
落下強度	1.5m コンクリート <sup>*2</sup> 1.0m タンブルドロップ <sup>*3</sup>
取得規格	VCCI Class B TELEC
外形寸法	本体 高さ 169mm 幅 60mm 厚さ 49mm 充電スタンド 高さ 86.5mm 幅 80mm 厚さ 59mm
重量	本体 120g 充電スタンド 189g
AC アダプター	入力 100~240VAC 50/60Hz 出力 DC5V/1A

※1 使用環境により異なります。保証値ではありません

※2 6 面各 3 回コンクリート面に落下。当社規定による試験値であり、保証値ではありません

※3 直径 1m のドラム内で 200 回の回転落下。当社規定による試験値であり、保証値ではありません

## 商標について

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標です。
- iPad、iPhoneおよびiOSは、Apple Inc.の登録商標です。
- その他、本書に掲載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 本書の一部または全部を無断で使用することはできません。

株式会社アルフ  
〒155-0032 東京都世田谷区代沢 3-6-11  
TEL: 03-5432-7170 FAX: 03-5432-7172  
ホームページ <http://www.alf-net.co.jp/>